

らみらいお

Public Relations



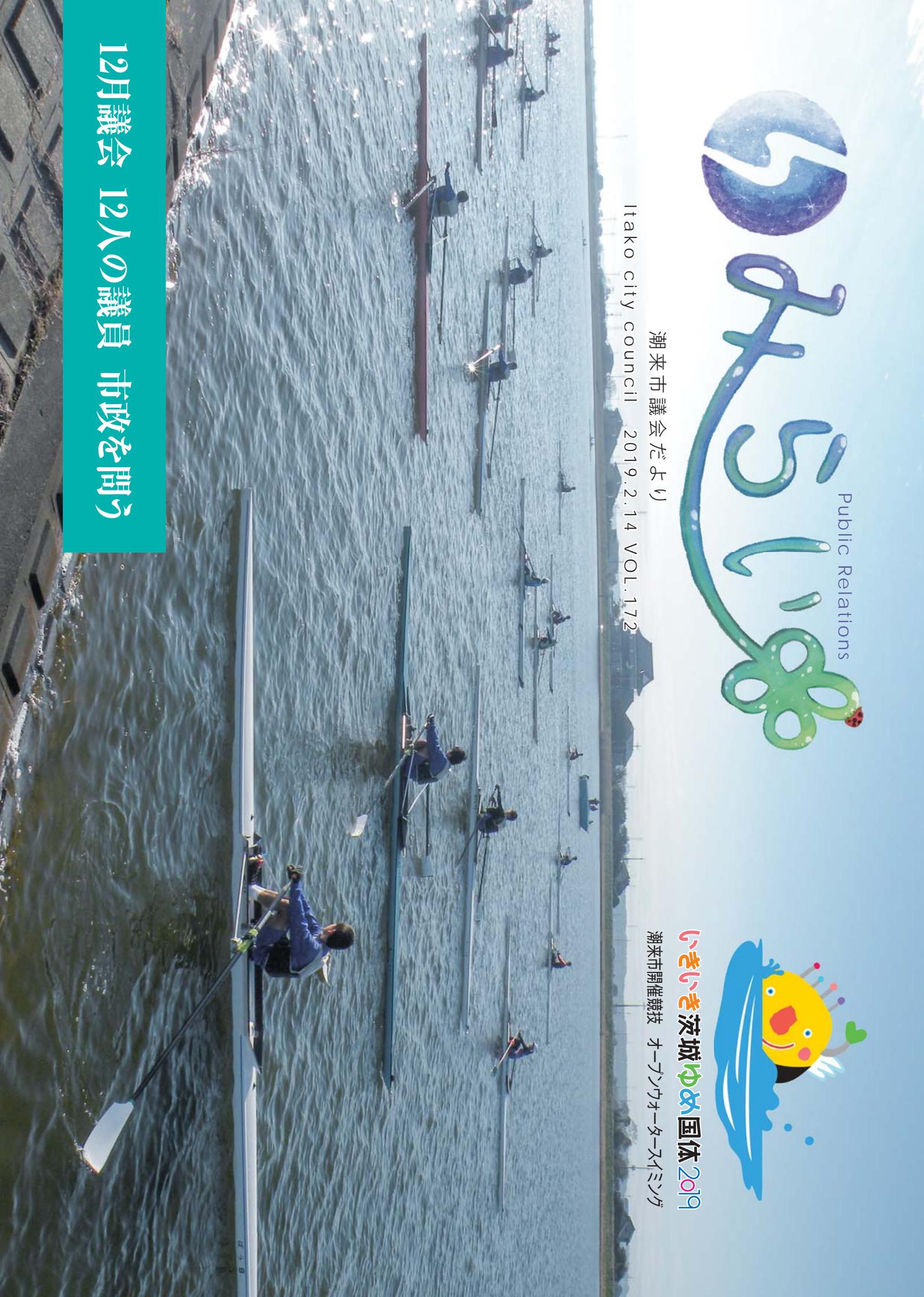
いきいき茨城ゆめ国体2019

潮来市開催競技 オープンウォータースイング

潮来市議会だより

Itako city council 2019.2.14 VOL.172

12月議会 12人の議員 市政を問う



議長 年頭のごあいさつ



潮来市議会議長
薄井 征記

市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。
ここに、輝かしい新春を迎え謹んで市民の皆様のご多幸とご繁栄を心よりご祈念申し上げます。
さて、昨年潮来市は茨城国体に備え、トライアスロン、ボートのリハーサル大会を開催し準備を進めてまいりました。
今年も、全国に誇れる競技・会場運営、おもてなしを合言葉

オープンも予定されるなど、前川沿いの賑わいを醸成する施設が整備され、観光の目玉として期待するものです。
さらに、潮来市の玄関口である水郷潮来バスターミナルの整備も進められており、昨年リニューアルオープンした道の駅いたことともに、交流人口の増加、地域活性化に繋がる施設として期待しています。
今日の経済情勢は、いざなぎ

に、多くの市民の皆様のご参加・ご協力をお願いするところでございます。
また、観光面では水郷旧家磯山邸がオープンし、津軽河岸あと広場の
景気超えであるといわれておりますが、地方は実感がなく、消費税引き上げ後の景気の冷え込みが懸念されるところです。
このような中、日の出地区の復興工事も一段落し、日の出地区が新しく生まれ変わりました。
ここに、新年を迎え、本市の一段の飛躍を期して、清新の気がみなぎるのを覚えます。
市も厳しい財政状況ですが、市民福祉の安定と市民生活の向上のため、議決機関として市民の皆様への付託に応えるべく、市と協力し真摯に取り組んでまいり所存でございます。
本年も市民の皆様のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。
つとさせていただきます。

市議会は みなさんの パートナー

私たち議員16人は市民の代表として、みなさんが住みやすいまちにするためにより良い政策を市が行えるよう主に以下のような活動をしています。



聴く・伝える

みなさんの声に耳を傾け、まちづくりに関する情報や議論の経緯を伝えます。

提案

みなさんの声を市政に反映できるように提案します。

チェック

本議会や委員会にて、市が提出する議案等を審査します。

平成30年 第4回定例会

会期18日間
(12月4日～21日)



今定例会には、市長から予算7件・条例5件・同意3件・諮問1件・その他2件の議案が提出され、全て原案のとおり可決しました。また、2件の審議を行いました。

市政一般についての質問は12人の議員が行いました。要約した内容を7～18ページに掲載しています。

次のページは

請願・委員会審査

議案・ヒックアップ 条例

議案 第59号
潮来市津軽河岸あと広場の設置及び管理に関する条例の制定について

津軽河岸あと広場の整備完了後の管理や使用方法が制定されました。施行は4月1日からです。



完成予想イメージ

議案 第60号
潮来市公告式条例の一部改正について

牛堀地区の公告掲示看板が移設することに伴い、条例を一部改正しました。



市立図書館の玄関前にあります

以下の金額が歳入・歳出に追加されました。

補正予算

会計名	12月補正額
一般会計	17億4018万3千円
国民健康保険	45万8千円
介護保険	4万4千円
後期高齢者医療	119万6千円
水道事業	2400万0千円
下水道事業	11万0千円
農業集落排水事業	1万5千円

何に予算が使われるの？

主なものとして、一般会計歳出では次のものに使われます。

- ・住基システム改修事業
- ・住民票・マイナンバーカード等への旧姓併記のため改修するもの
- ・国民年金システム改修事業
- ・第1号被保険者の産前産後保険料免除のため改修するもの
- ・潮来保育所改修事業
- ・屋根の防水や、公立認定こども園のため改修するもの

人事

同意4号

教育委員会委員

塚本 健二郎氏(日の出)

教育委員会の構成員で、学校教育や社会教育等の教育全般に関わることを審議する委員です。

同意5号

固定資産評価審査委員

倉川 和巳氏(永山)

固定資産評価額に関する不服を審査するため、評価額が適正かどうか審査する委員です。

同意6号

公文書開示審査会委員

湊 弘美氏(千葉市弁護士)

小林 俊夫氏(日の出)

佐野 憲一氏(牛堀)

茂木 春美氏(鳥須)

風間 道夫氏(釜谷)

公文書の開示・非開示決定に対する不服申し立てに関して、調査・審議する委員です。

諮問1号

人権擁護委員

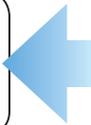
佐野 憲一氏(牛堀)

久保 隆氏(大塚野)

法務大臣から委嘱され、人権侵害事件の調査処理、人権相談、人権啓発活動を行います。

請願審査

請願受理後、所管委員会で審議し、本会議で委員長が報告。その後請願賛成者と反対者が討論



【賛成討論】沼里真一郎議員

他政策同様アンケート結果に基づき、公立幼稚園2園存続すべき。民間同様に年少から3年保育化を。行方市がしている預かり保育の朝夕少し延長等を。福祉部管理でなく、条例通り首長から独立機関の教育委員会管理を。民間社会福祉法人こども園へ指導研修充実を。しかし公立幼稚園として1園存続策も取らず、急にアンケート項目に無かった保育所との3園統合。一昨年9月から議会一般質問し答弁や発言質問停止が朝日新聞記事に。各保護者から手紙も。これら短期間で集まった署名者721名の願い。しかし請願も委員会で質問無し、休憩中別室協議し討論とした。請願者が憤り。ただ否決のみはおかしい。

【反対討論】兼平直紀議員

大きな理由は、極端な小人数では幼児教育に必要な社会性や集団性が育ちにくくなるほか、必要な幼児教育の目的を果たせないことです。何が最善なのか、アンケート結果、両園の園児数、出生児の推移、何より多くの友達の中で過ごす環境の大切さを踏まえ、潮来保育所に統合することが望ましいと判断したことに賛成致します。また潮来保育所の廃止の請願内容にも反対です。子育て支援課が管轄していることも、法令上何も問題がないとの答弁でした。民間の認定子ども園のカリキュラムや指導計画が劣っているとも思いません。この判断が園児のためになると考えました。

請願名 潮来市公立幼稚園2園の存続を求める請願
 請願者 潮来市の教育を考える会
 会長 宮内藤夫
 紹介議員 沼里 真一郎
 所管 教育福祉経済委員会

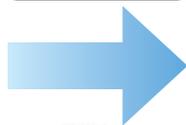


請願内容（要約）

公立幼稚園2園と公立保育所の3園を統合し、公立の認定子ども園1園に再編は、公立2園の存続が最も多かった保護者アンケート結果に逆行しているとして、次のことを要望する。

- 1 アンケート結果を重視し、延方幼稚園、うしほり幼稚園の2園を存続すること（公立保育所を廃止して、公立の認定子ども園2園とすれば、兼ねてから要請している3年保育や預かり時間の延長も実現でき、幼児教育の質を維持する上でも現実的な案である。）
- 2 国も県も最重要施策としている幼児教育を福祉部子育て支援課に任せることなく、鹿行地区の他の4市のように、教育委員会の管轄に戻すこと
- 3 質の高い幼児教育を継承し発展させてきた公立2園のカリキュラムや指導計画を他の認定子ども園の幼稚園部門にも継承するよう教育委員会が働きかけること

委員長報告・各討論の後、議員全員で多数決をとります



賛否の結果 不採択

阿部 慶介	兼平 直紀	小峰 進	大野 政則	飯田 幸弘	兼平 好一	平田 健三	箕輪 昇
×	×	×	×	×	×	×	×
飯島 康弘	田崎 清	沼里真一郎	笠間 丈夫	薄井 征記	小沼 英明	栗飯原治雄	今泉 利拓
×	×	○	×	議	欠	欠	×

○:賛成 ×:反対 欠:欠席 議:議長
 (議長は賛否同数以外は採決に加わりません)

その他の議案は次のとおりです。

条例一部改正

議案第61号

潮来市職員の給与に関する条例

議案第62号

潮来市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例

議案第63号

潮来市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例

職員等の給与に関する法律の一部改正が閣議決定され、それに伴い市議会議員・市長・教育長及び職員等についても国に準じた改正を行うため、それぞれの条例の一部を改正しました。

その他

議案第64号、第65号

市道路線が認定・変更されました。

議案を詳しく審査するために…委員会審査

総務建設委員会

12月18日 総務建設委員会では、1件の請願、5件の条例改正、3件の補正予算、市道路線の認定・廃止を審査しました。

請願第2号 運転開始から40年を超える東海第二発電所の再稼働を行わないことを求めることについての請願 請願提出者：鹿行平和委員会 会長 風間道夫
紹介議員：箕輪昇

→ 更に慎重な審査を必要とするため、継続審査と決定

議案に関する主な質疑

議案第66号 平成30年度潮来市一般会計補正予算（第3号）[所管科目]

【問】 東日本大震災復興交付金について

今までに返還はしたことがあったか？ 交付金はいくらだったか？

【答】 平成29年4月に608万3千円を返還したことがある。

交付金補助率は事業費の約75%であり、全体事業費205億3520万5千円に対する交付金は156億2639万3千円。実績見込額では、全体事業費183億7374万5千円に対して交付金は139億7756万7千円。事業費の残り約25%は、震災復興特別交付税で措置。



採決の結果、全ての議案について全員賛成で、原案のとおり可決するべきであると決定しました。

教育福祉経済委員会

12月19日 教育福祉経済委員会では、1件の請願、4件の補正予算を審査しました。

請願第3号 潮来市公立幼稚園2園の存続を求める請願
請願提出者：潮来市の教育を考える会 会長 宮内藤夫
紹介議員：沼里真一郎

→ 出席委員全員反対で不採択とするべきであると決定（その後の本会議詳細は4ページ）

補正予算4件は、出席委員全員賛成で原案のとおり可決するべきであると決定しました。



委員会での結果を、本会議にて各委員長が報告しました。

市政を問う

議員の質問や市の答えには、市政の課題がたくさん詰まっています。どうぞ注目ください。※7ページから18ページまで発言順に掲載。質問は議員本人からの寄稿によるものです。

箕輪

- 1 島崎城跡の保全について
- 2 北浦の水質浄化について

昇

7
ページ

小峰

- 1 大学・専門学校等の誘致について
- 2 道路の安全対策を
- 3 高齢者福祉の切れ目のないサービスについて
- 4 原市長のまちづくりについて

進

8
ページ

阿部慶介

9
ページ

- 1 潮来市の学校施設のエアコンと防犯カメラはどうか？
- 2 スポーツの素晴らしさを伝える「夢の教室」JFAこころプロジェクトについて
- 3 災害や防災情報は市民の皆さんには必要！潮来市メールマガジンについて
- 4 メガファーム事業について

大野政則

10
ページ

- 1 潮来市の観光について
- 2 水郷バスターミナルの再整備について
- 3 潮来市の人づくりについて

小沼英明

11
ページ

- 1 1655号線と旧有料道路の交差するしまむらとウエルシアのある信号について
- 2 奨学金制度について
- 3 広域ごみ施設建設について
- 4 磯山邸の子供の紐解き祝いについて

平田健三

12
ページ

- 1 認知症高齢者対策について
- 2 防犯対策について
- 3 ごみの減量化対策について
- 4 防犯対策と避難所の充実について

兼平好一

13
ページ

- 1 まちづくり座談会の結果について
- 2 水稲メガファーム育成事業の進捗状況について
- 3 ゴミ処理施設について

飯島康弘

14
ページ

- 1 マンホールカードの導入について
- 2 乾杯条例のその後について
- 3 教育環境の充実について（奨学金について）
- 4 学生による選挙立会人について

田崎

清

15
ページ

- 1 安心・安全について
- 2 ゴミ処理施設について
- 3 県議選、市長選について

飯田幸弘

16
ページ

- 1 安全・安心な生活環境の整備について
- 2 外国人観光客誘致の取組について
- 3 「いきいき茨城ゆめ国体2019」開催に向けた取組状況について

兼平直紀

17
ページ

- 1 潮来市のボランティア団体と災害救援ボランティアの受入体制について
- 2 潮来市消防団の基本団員確保と機能別消防団員制度について
- 3 茨城国体開催中の潮来市のPR活動について
- 4 情報発信室について

今泉利拓

18
ページ

- 1 ふるさと納税の返礼品について
- 2 潮来市の空き家解消に向けての取り組みについて
- 3 「道徳」授業の評価について
- 4 潮来市の家計簿について

白抜きの数字は要約して掲載された質問ですが、それ以外は紙面の都合により掲載できませんでした。議員氏名隣のQRコードを読み取ると、映像で視聴いただけますので、ぜひご覧ください。



Q1 島崎城跡を整備し、公園化しては

歴史的にも規模的にも貴重な遺跡の島崎城跡を公園化する計画は考えているか。

答 教育部長

島崎城跡は城郭としての遺構保全及び景観保全に努めることが求められている。管理者の地元地区及び地権者、島崎城跡を守る会等との連携を図ると共に、観光や都市整備部署との協議を設け、公園化の考え方も含めた市の整備方針・整備計画を検討していきたい。

② 島崎城を守る会より要望書が出されているが、どうかたえていくのか。



答 教育部長

6月3日付で島崎城跡を守る会から市の支援を求める要望書が提出された。要望は3点。

① 草刈り及び清掃活動↓守る会と連携をしながら実施している。

② 案内看板の設置↓計画的な整備に向け調整し、平成31年度予算要求している。

③ 広報紙等への掲載↓市の公式フェイスブックで活動の状況を紹介した。今後SNSや広報紙等で活動状況を発信していきたい。

③ 島崎城跡や市内の様々な史跡、行事等の整備を進め、それらの点を線で結べば観光資源になると思うが。

答 市長

あやめまつりだけに頼る観光から、通年型観光・いろいろな地域財産の観光資源化を図っていくことを市としても進めている。島崎城跡は地権者の同意を得て、道路・駐車場・休憩施設等の整備計画を作り予算をつけて全力をもって進めていきたい。

Q2 北浦の水質は西浦の水質ほど浄化されていない

① 巴川の主流にある堅倉立坑は霞ヶ浦導水路上にあり、この立坑より那珂川の水を巴川を経て北浦に導水すれば、市の水道水としている北浦の水質浄化になると考えるが。

答 環境経済部長

堅倉立坑から北浦へ流入する巴川への導水は、北浦浄化対策としてひとつの有効な手段だが、事業主体の国土交通省関東地方整備局において巴川自体の状況等が十分調査されていない状況。今後、千波湖での実証実験の成果を見極め、周辺関係市と北浦の水質浄化対策について連携をしていきたい。

② 逆水門の柔軟な運用と巴川の導水と併せれば水質浄化がさらに効果的になる。

答 市長

逆水門を柔軟に運用して、なおかつ新しい水を流すことは理想的な形だと思う。今後

は、国・県どちらにも働きかけをして、そうなるように頑張っていきたい。

② 新宮、水原地区公共下水道工事の進捗状況と、公共施設、宿泊施設の下水排水はどう排水されるのか。

答 建設部長

平成28年度より新宮地区から下水道工事を順次進めており、平成30年から水原地区も併せて進めている。平成29年度末時点で約1.5kmの工事了。今年度約1.8kmの完成を見込んでおり、合計約3.3kmの工事完成予定。

③ 上下水道課長

下水道に直接接続のできない施設を下水道法では特定事業場と呼ぶ。このような施設は、潮来市の条例や下水道法に基づき、悪質汚水の排除の開始等の届け出をしてもらう。その後、下水道に合う排出基準になるように除害施設というものを設けてもらう。排出している水は、常に検査をして管理をする形となる。



Q1
大学・専門学校等の誘致を

問 大学等の誘致は、教育や地域活性化を初め幅広い分野において、様々な効果を期待することができる。これまでに誘致を検討したことはあるか。また、取り組んでみる価値はあると思うが、市の見解は。

答 市長公室長

総合計画策定や新規事業の検討の中で話題として上がったことはあるが、具体的な誘致の検討には至っていない。誘致が成功すれば、多大な経済効果等が生まれる可能性があるが、様々な課題もあり今後調査・研究していく。

再質問 潮来の地域性に特化

した美術系、観光ビジネス系等の専門学校はどうか。

答 市長公室長

観光や文化に特化したものであれば、可能性はあると考える。

Q2
道路の安全対策を

問① 国道51号線小屋野鮮魚店交差点から西区に入り道の駅へ向かう道路は、道路幅が狭く、カーブとなっており、見通しが非常に悪く大変危険である。道路幅を広げるなど何らかの対策はとれないのか。

答 建設部長

以前に歩道整備や拡幅を実施しようとしたが、用地等の問題があり現在の幅員でしか拡幅できなかった箇所。区画線、カーブミラー、ガードパイプ等の安全対策をできる限り設置している。今後もできる限りの対策を講じたい。

問② 神栖方面から鱒川橋を渡ってすぐの徳島の交差点、信号機と右折レーンはあるが非常に交通量が多いため、な

かなか右折ができない状態である。矢印式信号機を設置できないのか。

答 建設部長

管理が潮来土木事務所となり、現在の道路状況は、地元からの要望として伝える。矢印式信号機は、総務課と調整の上、地元からの要望として行方署へ要望していく。

Q3
高齢者福祉の切れ目のないサービスを

問① 様々な高齢に伴う諸問題が出る中で、高齢福祉の現在の状況は。②市民の相談窓口として、高齢福祉課と地域包括センターとの役割分担や相談内容による情報共有、連携はどのようにしているか。③高齢福祉課と社会福祉協議会の場所が非常に離れていると思うが、不便だという声はないのか。その改善のための方法は。

答 市民福祉部長

①総務省の人口統計（H29年10月）で高齢化率は27.7%。当市高齢化率は30%を超え、高齢者のひとり

暮らし、認知症高齢者の増加傾向にあり、相談事案が年々増加している。

②市は高齢者が住みなれた地域で安心して暮らしていただけるよう、高齢者支援のための事業方針を作成、これに基づき地域包括支援センターは、高齢者支援のため様々な事業を展開。市は地域包括支援センターと情報を共有するとともに連携を密にし、事業実施に携わっている。

③それぞれの機関で手続が必要となった場合、戸惑うという声もある。現在は、混乱しないよう、それぞれ窓口で受け付けした機関が連絡をとり合っており調整している。現在のところ、事務所が違うところにある物理的な回避は難しいため、連携を密にし、高齢者、ご家族の方々にご迷惑をかけないように努める。

再質問 窓口を一つにできないのか。

答 高齢福祉課長

ワンストップにすることは、高齢者にとっては非常に便利であるので、検討していく。



Q1 潮来市の学校施設のエアコンと防犯カメラはどうなる？

問 職員室のエアコンが故障している牛掘中や津知小は図書室を会議室として使用している。各学校で事情に差がある。本当に必要とされる所に効率よく設置していただきたい。
答 教育部長
学校の職員室、共用スペースや図書室等々、必要とあらば設置に向けて予算計上を財政部局と調整している状況。

問 前回、「さらなる防犯上、安全な効果が得られるような台数が必要とあれば、各学校からの聞き取り等を含め、設置について検討を進める」と答弁いただいている。各学校への聞き取り状況は？
答 教育部長
市内小・中学校への聞き取りを実施した。要望台数に達していない学校は、今後、十分な聞き取りを行い、適宜整備を進めていきたい。

Q2 スポーツの素晴らしさを伝える「夢の教室」JFAころプロジェクトについて

問 サッカー、野球などアスリートが子供達とスポーツや夢を持つことの素晴らしさ、それに向かって努力する事の大切さを学ぶプロジェクト。市としても取り入れてみては。
答 教育部長
公益財団法人日本サッカー協会（JFA）このころのプロジェクト「夢の教室」は、子供の心身の健全な成長に寄与

するプロジェクトであり、これまでの開催実績からしてもとても素晴らしいものであると思う。今後の青少年育成の事業として参考にしたい。

本市では、「夢の教室」と同様な心の教育につながる授業として公益財団法人日本オリンピック委員会が学校にオリンピックを派遣する「オリンピック教室」授業、日本財団パラリンピックサポートセンターがパラアスリートを派遣する「あすチャレ！スクール」の平成31年度の開催希望を申し込んでいる。

また、鹿島アントラーズのホームタウン事業として、アントラーズ選手が小学校を訪問し、子供たちとスポーツを行い交流する小学校訪問事業にも取り組んでいる。

Q3 災害や防災情報は市民の皆さんには必要！潮来市メールマガジンについて

問 防災情報以外にも市の大事な情報も送信している。今までも広報いたこ等で宣伝し

ていたが、市内の行事、かすみ保健センターや学校行事等に市職員が出向いて登録をお願いしては？
答 総務部長
今後のことは情報政策部門とも連携をとりながら、できるだけ出向いて説明できればと考えている。

Q4 メガファーム事業について

問 現在実施しているアンケートは地権者に対するものだが、その後耕作者の方にもアンケートを行い、説明会を実施しなければいけないと思う。農家の方は3月に入ると忙しくなるので、実施するならば2月中にやるべきでは？
答 環境経済部長
春先になると農家の方も忙しくなると思う。ある程度のアンケート回収率が上がらないと事業も進まないのので、回収率が上がり、次にエリア設定の時に関係者や農家の皆様に丁寧に説明したい。



Q1
潮来市の観光について

問 過去三年間の水郷潮来あやめまつり大会における観光客数と外国人観光客数は、全て環境経済部長

年度	あやめまつり観光客数	外国人宿泊者数(6月)
27	85万2千人	202人
28	78万人	数字なし
29	82万人	103人
30	80万人	241人

問 水郷潮来あやめまつり大会開催による市内飲食店及び宿泊施設等への経済効果は、市内飲食店等に伺ったが経済効果を把握することは困難

問 通年型観光の実現に向けた取組状況及び具体的な数値目標は。

答 平成28年度から4月下旬(7・8月を除く)。あやめまつり以外の人力車や嫁入り舟等を考えている。数値目標として、2023年度には年間観光客数を260万人目指す。

問 外国人観光客の誘致に向けた取組状況及び具体的な数値目標は。

答 ①多言語HP「VISIT TITAKO」の内容充実
②国内外の旅行会社を対象にインバウンドモニターツアーを11月に実施
③市内飲食店の食事に関するウェブサイトに登録補助
④日本政府観光局(JNTO)と茨城県との連携強化
数値目標は、2023年に外国人宿泊客数を5千人目指す。

Q2
水郷潮来バスターミナルの再整備について

問 再整備に向けた具体的な整備内容及び事業費は、全て建設部長

答 駐車場の拡張整備、情報棟の新築、ロータリー部分を増設

し、バス路線が停車可能予定。送迎レーンを駐車場内に新たに設置予定。全体事業費の見込みは約6億円を予定。

問 財源確保に向けた取組状況は。

答 潮来市は事業をする場合に補助金等を充てて行うことにしている。社会資本総合整備交付金に計画書を申請しているが、正式な回答はまだ出ていない。

問 再整備に向けたスケジュールは。

答 平成30年度は、バスターミナル駐車場の測量、地質調査、不動産鑑定。31年度は駐車場及び情報棟の設計。また、駐車場拡張部分の用地を取得し、拡張部を工事予定。32年度は情報棟の建設及び既設情報棟を解体。33年度はロータリー部分の増設、駐車場の変更及び入場ゲート、精算ゲート等の移設を予定。

Q3
潮来市の人づくりについて

問 市としては、人づくりをどのように考えているのか。

答 市長公室長
「住みたいまち潮来」の実現に向け、地域資源等を初め、地域コミュニティを形成し、未来の潮来市を後世に継承していくためにも人づくり

は重要であると考えている。

問 青少年の人材育成を具体的にどのように進めているのか。

答 教育部長
青少年の健全育成のベースとなる社会環境整備づくりのため青少年育成市民会議、青少年相談員連絡協議会の皆様の活動や、中学生海外派遣事業、青少年のつどい等人材育成につながる取組を実施。

問 まちづくり塾を本市でも開いてはどうか。

答 市長公室長
先進市から調査をした上で、潮来市に合った塾や講座が開催できるか検討していきたい。

問 市の表彰規程を定め、毎年貢献される方を表彰しては。

答 市長公室長
市政に対し貢献のあった市民の方に対しては感謝状を贈呈している。今後、より公正に選考できるよう規程等の整備について近隣の状況を参考にしながら検討していきたい。

問 職員の表彰状況は。

答 総務部長
現在、優良職員表彰規程を設け、規程に該当する職員の表彰を行っている。



Q1 市道と旧有料道路の交差する信号について

問 市道1655線と旧有料道路が交わるウエルシアの信号は神栖に向かって右折可能か。

答 建設部長
右折する進行方向に侵入する道路はないので右折はできない。

再質問 右折は出来ないがUターンは禁止ではないから、右に入っても良いというものだろうが、後続車が来ると非常に危ないのでは。

答 建設部長
行方警察署によると、後続車を余り滞留させず、他の車両等の交通を妨害しなければ

Uターンは可能。右に曲がった先に道路がないので右折はできなく、Uターンしかできないということになる。

Q2 奨学金制度について

問 高速バスの通勤通学に当市は補助金を出している。当市でも県内他市のように独自に奨学金制度を導入し、都市だけでなく千葉や水戸に通う子供たちが定住する事にも繋がるのでは。

答 市長公室長
奨学金は、返金が滞っている国の状態もあり、勉強研究が必要。他の地域へという点は、前向きに考えていきたい。

Q3 広域ごみ焼却施設建設問題について

問① 銚田・行方・潮来の三市のごみ処理施設の場所選定まで至っていたものが三市から抜けて鹿嶋・神栖の二市のごみ処理施設建設事業へ参加しようとしたのか、今一度説明を願う。

答 環境経済部長
平成20年7月4日に三市による廃棄物連絡協議会を設置

し、ごみ処理広域化の検討を開始。その後、基本構想の策定や、用地の算定などを行った。平成28年度から、鹿行広域事務組合にごみ処理施設建設準備室を設置し、建設用地の選定作業等を実施。三市から1力所ずつ提出された建設候補地は取り下げがあり、候補地の再提出を求めていたが進展が見込めないと判断。また、潮来クリーンセンターが老朽化し、維持管理や修繕に多額の費用がかかる見込みから、三市の広域ごみ処理事業から離脱した。

問② 今一度三市で仕切り直す以外方法論はないと思うが、単独で自主財源でごみ処理していくつもりなのか。

答 環境経済部長
現在の潮来クリーンセンターを点検整備や修繕をしながら安定的なごみ処理を行っていく。

再質問 神栖市では故障した際に成田の民間業者や笠間の施設へ持ち込み数億の費用をかけている。今後潮来の施設が故障した際には、民間へ持ち込むのか、またどこかの自治体と提携し処理してもらうのか。

答 環境経済部長
突発的な故障等の時は、鹿行5市による一般廃棄物処理の緊急相互支援がある。また、一般社団法人の茨城県事業団が運営するエコフロンティアかさまとも協定を結んでいる。

再々質問 今後の見込みでどれくらいのポイント整備にお金をかけていくのか。

答 環境課長
平成28年度に策定した長期修繕計画での試算は、年間約1億8千万円。

問③ 今後の広域運営に今回の件は影響を及ぼさないのか。

答 環境経済部長
今後の広域運営に影響はないものと考えている。

再質問 再度組み直しをして、ごみ焼却場の施設を新たに市長がリーダーシップを取ってやるつもりはないのか。

答 市長
現時点では考えていない。まず、焼却場の修繕改修計画を立てて進めていきたい。

次のページは

市政を問う 一般質問 平田健三議員・兼平好一議員



Q1 本市の認知症予防対策について

問 認知症予防の現況と対策は。

答 市民福祉部長

本市では、認知症の方のみが利用できる通所介護事業所は1カ所、認知症対応型共同生活介護としては2カ所。利用状況として、認知症対応型共同生活介護は、認知症の方の増加傾向に伴い施設入所待ちが増える傾向。課題としては、今後認知症の方の増加が見込まれるため、認知症の方向けの通所介護サービス及び認知症対応型共同生活介護の拡充が図られるかという2点が挙げられる。発症初期に対応できる体制として、本年4月1日より地域包括支援センター内に認知症初期集中支援チームを設置。活動として

は、チーム員が認知症の方、そのおそれのある方、家族を訪問し、早い段階で介入し対応をしている。

Q2 防犯対策を急げ!

問 住宅侵入窃盗、自動車盗難の認知件数及び「二七電話」被害の未遂と認知件数と被害額は。

答 総務部長

H29年度、住宅侵入窃盗件数は12件、自動車窃盗件数は11件。「二七電話」詐欺の3件、被害額約290万円。未遂の件数は、はがき、メール、電話の数字を合わせると多数あると思われる。

問 本市の防犯啓発活動や「二七電話」被害防止対策は。

答 総務部長

市の安心感の醸成を図る目的で自治体や関係機関、防犯ボランティア団体、地域住民等が連携をして、キャンペーンを実施。年末には犯罪等を抑止すべく街頭活動を実施。「二七電話」被害防止対策は、防災無線やメールマガジンにて広報を行い被害防止に取り組んでいる。

Q3 ごみの減量化対策について

問 ごみ排出量の現況とゴミ集積所の課題は。

答 環境経済部長

平成28年度、生活系7,551t、事業系2,388t、合計9,939t。平成29年度、生活系7,335t、事業系2,445t、合計9,780t。課題は、一部集積所でごみの分別が徹底されていない状況、指定日以外のごみの搬出、違反物や地域外からごみを持ち込まれるなど、ルールが守られていない現状。ごみ出しのルールやマナーの徹底を図るため、広報紙等による市民啓発に努める。

問 ごみの減量化に対する今後の対策について。

答 環境経済部長

生ごみ減量の取組みとしては、コンポスト容器、ぼかし肥料専用容器、生ごみ処理機などの利用促進、環境学習や広報紙などを通じ効果や補助制度について周知啓発をしていく。団体に対するリサイクル回収助成も、リサイクルするごみの発生抑制や啓発に効

Q4 防災対策と避難所の充実を

問 備蓄品の現況は。

答 総務部長

食糧が7,828食分。飲料水がペットボトル等で3,600リットル、約400人が3日生活できる。食糧も870人分。また、飲料水はほかに市内5カ所に耐震性の飲料水兼用貯水槽が整備されていて、容量で245t、2万7,000人分。

問 簡易テント及び「ヘルプカード」の導入を

答 総務部長

避難所での簡易テント導入は、今後価格等も調整しながら、導入のほうを調整してま

問 市民福祉部長

災害時などに緊急連絡先や必要な支援内容を周囲へ伝えるヘルプカード導入を早期に検討する。

果的と考えている。



Q1 まちづくり座談会について

問 参加者は何名？
答 全て市長公室長

潮来（4回）	99人
辻（2回）	62人
大生原（1回）	49人
延方（4回）	106人
日の出（2回）	50人
牛堀（2回）	74人
合計（計15回）	440人

問 どのような意見があったか？

答 主なものとして5項目。防災行政無線、公共交通、観



光振興、道路関係、定住移住関係に関する意見をいただいた。

問 意見に対しての対応は？

答 いただいた意見について精査し、新規事業の策定や実施計画のヒアリング、当初予算の作成等に活用していく。

Q2 水稲メガファーム事業の進捗状況について

問 農地実態調査の状況を伺う。

答 全て環境経済部長
 調査した筆数は1543筆。件数は592件。12月7日時点で67%の回収率。

問 今後のスケジュールを伺う。

答 茨城県と打ち合わせを行っている中で、12月中旬を目途に農地実態調査の回収を行い、年内中に回収した実態調査の集約を進めたい。翌年1月～3月頃にかけて、担い手の皆様や地権者の皆様と話

し合いを進めていき、意向を集約していきたい。

Q3 ごみ処理施設について

問 直近三カ年のごみ搬入量と処理費用は？
答 全て環境経済部長

年度	ごみ搬入量	処理費用
27	9,828 t	5億7,097万4千円
28	9,939 t	6億 822万7千円
29	9,780 t	5億9,293万5千円

問 維持管理費と故障による修繕費は？

年度	維持管理費	故障による修繕費
27	4,492万7千円	895万1千円
28	3,798万7千円	9,939万9千円
29	5,027万6千円	4,758万円

問 広域ごみ処理施設の状況と今後の方向性を伺う。

答 これまで進めてきた三市によるごみ処理広域化事業から離脱表明し、鹿嶋市・神栖市が進めている広域ごみ処理施設建設事業への参加を両市に要請したが、参加について受け入れできない旨の回答を受けた。今後は、現在のクリーンセンターを点検、整備、修繕しながら安定的なごみ処理を行っていく。平成28～38年度までの長期修繕計画を作成しており、修繕費は年平均約1億8千万円の試算。





Q1 マンホールカードの導入について

問 全国的に盛り上がりを見せているマンホールカードは潮来市にとって非常に有効な手段であると考えますが、市の認識と導入は可能か伺う。

答 建設部長

マンホールカードは下水道への理解・関心を深めてもらうための入り口として、下水道の大切さをより深く理解してもらうためのツールとして認識している。費用対効果について調査検討し、効果があると見込めば、今後事業化は可能かと考える。

問 最少の経費で最大の効果を上げる施策のひとつであると考えますが是非導入を！

答 建設部長

継続的な配布、土日を含めた配布が可能な形をとる必要がある。良いこと尽くめであることは十分理解しているの、調査研究し検討する。



▲潮来市は3種類 (アヤメ・常州牛堀・白鳥と北浦)



▲マンホールカード (画像は水戸市)

Q2 教育環境の充実 (奨学金について) 市の認識は

問 「時代へ引き継ぐ人材・文化を育む教育」をテーマに掲げているが教育長の見解を伺う。

答 教育部長

潮来市HPにて、国や県、民間団体等の奨学金制度を案内している。潮来市社会福祉協議会にて生活福祉資金の貸付事業も行っているの、相談いただきたい。

答 教育長

教育振興計画を作成しており、遅くとも年度末にはお示ししたい。潮来市として義務教育段階での就学支援をしっかりとやっていきたい。小学校入学時の就学支援が必要なご家庭への支給を、就学後7月から就学前の3月に変更するなど、制度を見直している。また、高校入学時の支援については多方面の機関からの案内通知等を中学校に伝達して、各ご家庭に丁寧に説明するように進めている。

Q3 学生による選挙立会人について

問 若い世代の行政参加、市民協働についての考えを伺う。

答 市長

社会全体で、地域もまちづくりに若い世代を参加させたりして、若い人たちを巻き込んでやっていくことで、自然と投票率や選挙に関わるが増えてくると思う。私自身や議員の方々も含めた政治家が若い世代に近づく努力をしていくことが一番大切。選挙に携わる方がいれば、若い世代の意見が政治に反映されると思うので、よりよいまちづくりにご支援を賜りたい。

おじいちゃんやおばあちゃん、そして若い人までみんなでまちづくりができるよう祈念します。



Q1
ごみ処理施設につ
いて

クリーンセンターの耐用年数を考慮すると、今すぐ故障などにより使用できなくなる恐れがあり、市の課題の中でも重要なものの一つとされる。

問 三市協議会からなぜ最初に離脱したのか。その理由・経緯は。

答 環境経済部長

平成20年7月に協議会を設置して以来、検討を重ねてきた。平成28年度に鹿行広域事務組合に準備室を設置し、三



次のページは

市政を問う

一般質問

飯田幸弘議員・兼平直紀議員

市の市長、担当部長での用地選定委員会や、担当課長、施設長でのごみ処理施設建設調整会議で、建設用地の選定作業などを実施。建設用地は三市から一カ所ずつ提出された候補地で比較検討を進めていたが、取り下げられた候補地があり、候補地の再提出を求めていた。しかし提出されなかったことから、これ以上の進展が見込めないと判断した。

再質問 鹿嶋市・神栖市に受入の確約がないまま、なぜ最初に離脱表明したのか。
答 市長

潮来市が一番古い炉であり、三市のごみ処理場建設が頓挫している状況だった。鹿嶋市・神栖市の首長にはご理解をいただき進めたが、混乱もしてしまった。その責任は私にあると思っている。鹿嶋市・神栖市が11月末で国へ申

請をするので、時間的余裕がなかった。もう少し時間をかけて段取りを踏んで議会の賛同を得られるような形で進められればよかったが、期限が決められているという中で進めた。

問 8月22日の市議会議員全員協議会で唐突な発表。マスコミから先駆けて報道されたが、まず市民に向けて離脱や経緯を説明するのが当然。しなかつた理由は。

答 環境経済部長

市民の代表である議員の皆様様に説明をして、ご賛同を得て進めることが最善であると判断した。

問 三市協議会にて10年間に渡ったにも関わらず話が頓挫。今後、処理場が緊急時使用できなくなった場合の対応・緊急委託処理先は。処理施設の改修案・改修予算・改

修時の委託先は。
答 環境経済部長

緊急停止せざるを得ない時は、鹿行5市による一般廃棄物処理緊急時相互支援にかかわる協定や、一般財団法人茨城県環境保全事業団運営の工コフロンティアかさまとの協定に基づいて処理するほか、県内にある一般廃棄物処理認可を有する民間処理場で処理を行う。

処理施設の改修は、平成28年度策定の長期補修計画を参考に補修工事を進めている。



潮来クリーンセンター



Q1 安全安心な生活環境の整備を

問 田の森浄水場機械機器修繕は。

答 建設部長

11月現在で、配水池水位計施設漏水修繕工事、中央監視制御設備修繕工事、水質試験室空調機修繕工事、真空ポンプ交換修繕工事等の20件を実施。今後は、高圧電気ケーブル交換工事等を実施予定。

問 徳島・新宮地区の石綿管更新は。

答 建設部長

【徳島地区】今年度に約455メートル更新延長し、徳島地区の更新工事は完了。【新宮地区】今年度2本工事発注し、1本完了。もう1本の工期は来年1月末。この工

事終了後も、残り400メートルの石綿管が残る。

問 田の森浄水場及び石綿管更新の今後の取組は。

答 上下水道課長

田の森浄水場は、平成35年度から県水の全面受水があるので実施計画を策定。石綿管も実施計画の策定を行い、残り約10.6キロメートルについて計画を作成し、今後更新する。

問 潮来中継ポンプ場機械電気設備は。

答 建設部長

平成29年度より潮来中継ポンプ場の長寿命化の為、汚水ポンプ・電気設備・自家発電機器等の更新工事を実施し、今年度末で完了予定。

問 日の出第一ポンプ場及び延方中継ポンプ場の今後の取組は。

答 上下水道課長

平成32年度までの長寿命化計画に基づき、日の出第一中継ポンプ場電気機械の更新を実施。下水道ストックマネジメントという維持管理更新計画を作り、延方中継ポンプ場を更新する。

問 排水設備等工事費補助金の拡充は。

答 建設部長

65歳以上又は18歳未満のいる世帯で、世帯の課税対象年収334万円以下の世帯に対し、接続工事を35万円まで補助。11月末現在で9件を補助金交付決定。

Q2 茨城国体開催に向けた取組は

問 市民意識の醸成と広報PRは。

答 教育部長

広報いたこ・HP、SNSやFMかしまでの情報発信。また、市内でのあやめまつり、小学校運動会では国体マスコット「いばラッキー」が参加し、国体のPRやボランティア募集などの呼びかけを実施。引き続き市民の皆さんに向けた効果的な啓発活動を行いたい。

問 炬火リレーの実施は。

答 生涯学習課長

茨城県全体で炬火リレーの実施はしない。潮来市独自で炬火リレーを実施する予定はないが、小学生等による採火式を検討。沢山の皆さんに参

加できるようなイベントを考えている。

問 リハーサル大会を終えて、反省点・課題は。

答 教育部長

警備関係では関係車両と一般車の区別や路上駐車への対応等。トライアスロン競技ではレースのスムーズな進行やコースの安全対策。

問 オープンウォーターのリハーサル大会中止の影響は。

答 生涯学習課長

7月27日のプレリハーサルは水温が高かった為中止した。来年の本大会は9月11日なので、暑さは多少おさまる。

また、福井国体にて競技会会場の視察・運営方法の検証等を行ったので、競技運営も問題なく進めていける。来年7月7日にリハーサル大会を予定しており、その経験と検証、分析をし、対応をとっていききたい。

問 小中学生の観覧は。

答 生涯学習課長

市内の小・中学校に意向調査をしており、観戦をしてもらいたいということで学校に投げかけている。



Q1 災害時に頼れるボランティア！

問 当市のボランティア団体への要請、災害救援ボランティアの受入判断は、どこが担当しているのか。

答 全て市民福祉部長
市災害対策本部が潮来市社会福祉協議会へ要請し、災害ボランティアセンターの設置協議を行い、決定する。

問 災害時ボランティアの受入・管理体制は整っているか。

答 潮来市社会福祉協議会で災害ボランティア講座を受講予定。日ごろからの災害ボランティアとしての活躍する内容や、県外から来たボランティア募集者の捌き方を訓練する。

問 参加されるボランティア



の身分、補償等は整備されているか伺う

答 集団や組織における身分地位の定めはないが、資格等を把握してボランティア活動に生かしてもらおう。

補償等は、全国社会福祉協議会が取扱う保険があり、手続は居住地の社会福祉協議会で加入可能。

問 現金等を持たず着の身着のまま避難された方に、一時的な救済制度はあるか。

答 潮来市は現金の貸付制度はない。潮来市・県社会福祉協議会では、災害時や緊急時に貸付があると聞いている。

Q2 活躍する潮来市消防団へ！

問 道路交通法改正（H29年3月施行）後の普通免許では消防車を運転できません。現役団員の活動維持、新団員の確保方法として免許取得費用の補助はできないか伺う

答 全て総務部長
全額ではないが、協議を進めている。

問 今後の消防団機能の維持と地域の団員不足等を踏まえ、機能別消防団員制度の導

入を検討すべきでは？

答 現在は早急な導入は考えてない。今後を見据えた中で必要になるかと考えているので、制度導入に向けて十分調査研究していきたい。

問 機能別消防団員の処遇は考えているか？

答 地元の特色を生かした機能別消防団員を参考に検討を進めていければと考える。

Q3 競技・関係者が来る国体開催中に

問 開催期間中潮来市をPRする構想、イベント等は検討しているのか伺う

答 全て教育部長
PRは総合案内所を設置し、来訪者をスムーズに観光誘導しながら、潮来市の観光名所等の案内を考えている。

大会期間中には、飲み物サービスや物産品の振舞い等の実施を検討。イベントは、関係機関による開催等を強く働きかけていく。

問 PRするには市だけでなく、オール潮来、商工会、観光協会等各種団体が協力して行うべきだと考えるが

答 PRには商工会・観光協会等の関係機関の役割が大きいと考え、観光ガイド作成の際のタイアップの相談もしている。

Q4 民間採用で市役所の化学反応は？

問 潮来市の魅力を国内外へのPR、インバウンド対策の為に外部からマネージャーを採用した情報発信室の成果は？

答 市長公室長

平成29年4月に開始したFMかしまでの放送は新たな情報発信メディアとして好評を博している。第20回ふるさとイベント大賞特別賞に潮来の嫁入り舟が選定され、全国に潮来市をPRする機会を醸成。

問 外部からマネージャーを採用した効果は？
答 秘書政策課長

広報紙等が主だったが、市外に向けた動画の活用を職員も意識して発信した。また、マネージャーによる全職員向けの広報研修も企画し、情報発信のスキルアップにも取り組んでいる。

次のページは

市政を問う 一般質問 今泉利拓議員・追跡国体シリーズ



Q1
ふるさと納税の返
礼品について

ふるさと納税の返礼品問題で総務省の通知に應じず、寄付額の3割を超えたり、地場産品以外の品を送ったりしている自治体が11月1日時点で全国に91市町村あることが総務省の調査で分かった。総務省は来春の地方税法の改正で通知に應じない自治体を制度の対象から外す方針。

問 潮来市の場合、ふるさと納税の返礼品について問題点はないか。

答 環境経済部長

返礼品を取り扱う市内事業者の皆様は10月11日に総務省の方針を説明し、返礼品の割合を3割以下とすることを確認・了承をいただいた。10月

末時点で、当市の返礼品は全て3割以下とした。

Q2
潮来市の空き家解消に向けての取組について

問 6月・9月の定例議会、潮来市内の空き家解消について質問したが、9月の定例議会後、市の取組で何か進んでいる点はあるか。

答 総務部長

空き家対策協議会の設置に向けて、関係機関・専門機関から委員の人選をしていたが、今だ至っていない団体が有る。人選が調い次第、早急に協議会を開催したい。

Q3
「道徳」授業の評
価について

今年度から、全国の小学校で「道徳」が正式の教科となった。学習・授業の成果をどう評価するか。他の科目のように数値で成績をつけるのではなく、記述式でコメントを書くのが原則になっているようだ。

問 当潮来市の小学校では

「道徳」の学習の評価を、どのような方法で通知表に示しているか。

答 教育部長

道徳科における児童の学習状況及び成長の様子についての評価を個人内評価とし、数値による評価ではなく記述式で行う。通知表へは年度末の3月に特別の教科道徳の欄に記入する。

Q4
潮来市の家計簿に
ついて

10月号の広報いたこに「潮来市の家計簿」ということで平成29年度市の決算が報告された。マンガを取り入れたことにより、今年の決算は分かりやすいですねという声も聞きました。そこで持続可能な自治体運営を進めていく中で伺う。

問① 平成29年度までの財政調整基金については広報紙により理解できたが、今後5年間の財政調整基金の見通しはどうか。

答 全て総務部長

財政調整基金残高は平成30年度末で約17億円の見込み。今後5年間の見通しは、扶助

費を中心とする社会保障経費の増加や、老朽化等に伴う公共施設の長寿命化対策などから、徐々に減少すると予想。

問② 同じように市債残高の5年間の見通しはどうか。

答 過去3年間で市債残高を18億円減らした。今後の市債残高の見通しは、平成30年度末の残高が207億円であり、今後これまで同様の通年規模で、国・県等の補助金を活用しながらの抑制を継続すると、平成34年度末には200億円を切るのではと見込んでいる。

問③ 問①・②の状況の中で持続可能な自治体づくりを進めなければならない。市民に何を求めるのか。

答 住民参加による行政運営が重要な施策となっている。市民の皆様方には、日常生活の中での自分ができることや、地域の中でお互いを助け合いながらできることをお考えいただきながら、みんなでつくる住みたいまち潮来が実現できればと考えている。

今を担う私たちのために
 未来を担う子どもたちのために

Public Relations

パブリック リレーションズ

本来の意味は
 公共の・公衆の良好な
 関係づくり・結びつき

親しまれる議会だよりをめざし『みらい』の
 紙面づくりに取り組んでまいります。



NEXT

次の
 定例会は
3月8日金
 開会予定



市議会では、市民のみなさんの生活に
 直結した重要な問題が審議されています
 ので、私たち議員の活動状況や市政の内
 容を知るためにも、ぜひ議会の傍聴にき
 てください。

動画でみる！

市議会

スマートフォンやタ
 ブレットでもご視聴い
 ただけます。ぜひご利
 用ください。



動画サイトQRコード



議員研修会を開催しました

潮来市議会では、より効果的に審議を行うため議員研修会を毎
 年開催しています。

11月13日 国土交通省関東地方整備局から常総国道事務所・常
 陸河川国道事務所の担当者をお
 招きし、東関東自動車道水戸線
 及び国道51号線バイパス事業進
 捗状況について説明をいただき
 ました。また第2部として、市
 の財政部局から予算・決算につ
 いても説明を受けました。



表紙の説明

朝日に向かって新たな船出！

新年を迎えたばかりの1月5日（土）、市内中・高校生
 によるボート初漕ぎ会が行なわれました。ひんやりとした
 空気は身を引き締め、新しい1年をスタートするのに相応
 しい日になりました。今年の10月には、いよいよ茨城国体
 ボート競技が潮来市で開催されます。45年ぶりの国体は素
 晴らしい経験をもたらしてくれるでしょう。

編集後記

議会だより『みらい』をご愛読
 いただき誠に有り難う御座いま
 す。

今回号は議長の年頭のごあいさ
 つ、「請願」及び「同意」「諮問」
 議案が多数あり、慎重な審議審査
 が行われました。更に、市政に関
 する一般質問が12人の議員により
 行われました。

今後もパブリックリレーション
 ズの意味にそくしつつ、市民の皆
 様に読みやすく親しまれる紙面づ
 くりに取り組んでまいりますの
 で、議会だより『みらい』をご愛
 読いただけますようお願いいたし
 ます。
 (飯田 幸弘)

議会広報 編集委員会

委員長	大野 政則
副委員長	平田 健三
委員	兼平 好一
	飯田 幸弘
	兼平 直紀
	阿部 慶介